



シルバーいなぎ

第47号
平成24年1月1日発行
公益社団法人
稲城市シルバー人材センター
広報委員会

謹賀



平成24年 新年

私たちは昨年、千年に一度とも言われた東日本大震災による大きな犠牲を強いられたまま、平成24年の新春を迎えました。多くの尊い生命を失った現実、越年しても風化させてはなりません。末永く被災者の心を支える応援者でありたいと思います。

◆信頼されるセンターとして会員一人一役を！

会長 三澤 一彦

会員の皆様、ご健勝にて新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年、公益社団法人としての基本計画書（平成23年度より5カ年計画）を作成致しました。

この計画書は当センター事業運営の指針でありますので実現に向けて最大限の努力を致す所存であります。

さて、皆様ご承知のように当センターは目下財政状況が大変厳しい状態にあり、事業実績（受注額）が下向き傾向にあるのが現状です。

これを何としても打開し、活気に満ちた明るいセンターの復活を目指さなければなりません。それには稲城市民に信頼されるセンターとして会員一人一役を果たす奉仕の心をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

◆事故・トラブルのない就業を！

副会長 小山 庸夫

会員の皆様、新年おめでとうございます。昨年4月に公益社団法人としてスタートし

間もなく1年となります。当センターを見る市民の目も厳しくなっております。



熱のこもった三役会議

昨年は、事故も多く就業適正化特別委員会も、トラブルがらみで2回開催しました。

今年は事故・トラブルのない1年とするために、健康に留意し気を引き締めて就業いたしましょう。

皆様のご多幸をお祈りいたします。

◆地域社会に期待され親しまれるセンターに！

常務理事 宮澤 洋

明けましておめでとうございます。

今年も会員の皆様にとって幸多き年でありませう、心からお祈り申し上げます。

公益社団法人に移行してから2年目となる今年は、法人として本当の真価が問われる年です。

公益法人になって良かったと多くの方々から言って頂けるように頑張っておりますので、会員の皆さんも私たちと一緒に力を合わせて頂ければと思います。

厳しい経済状況は、今年も続くと思われませんが、地域社会に期待され、親しまれる組織であり続けられるよう“ガンバリ”しましょう。

よろしくお願い致します。

初春の抱負をお聞きしました

一人でも多くの皆さまが就業できるように事業の開拓をしなければと思う。

事業部長 牛山 榮子

今年はより多くの会員の皆さんと話ができる年にしたいと思う。

広報委員会委員長 西 功

安全就業はセンター事業の大きな柱、安心安全について会員全員で考えたい。

安全管理委員会委員長 新井田 修

現在進行中の事業を着実に拡大し、女性会員就業の場の開拓をめざしたい。

女性就業推進委員会委員長 半杭 弘子

希望職種交代要員募集のご案内

《希望職種》グループの交代要員を募集しています。この職種は無償の研修期間があり、役員・発注者による面接があります。研修は交代月の約1カ月前から数日行います。

《希望職種》 詳細は事務局まで

グループ	人員	就業時間	交代月
総合グラウンド	1名	ローテーション	4月
城山文化センター	1名	ローテーション	4月

※申し込み締切日は交代月の2カ月前の末日です

《24年度上半期の交代要員の予定》

グループ	人員	就業時間	交代月
地域振興プラザ	1名	ローテーション	5月
城山文化センター	1名	ローテーション	6月
第二文化センター	1名	ローテーション	7月
第三文化センター	1名	ローテーション	7月

基本計画実施推進本部員の募集

基本計画に基づくセンター運営および諸事業をセンター役員とともに検討し、具体的な推進計画を立案する推進本部員を、会員より募集します。推進本部員として協力して頂ける希望者は1月20日までにセンター事務局にご連絡ください。

公益社団法人 稲城市シルバー人材センター

所在地 稲城市東長沼2112-1

稲城市地域振興プラザ3階

電話377-2212 FAX377-7692

11月30日現在 会員数 681名

(男性:473名 女性:208名)

受託件数 296件(10月) 309件(11月)

就業実人員 463名(10月) 465名(11月)

契約金額 24,719,442円(10月)

24,748,652円(11月)

「基本計画書」とはなんですか

昨年12月に皆様のお手元に「基本計画書」をお届けいたしました。これには公益社団法人シルバー人材センターの将来を見据えた5カ年計画が書かれています。

平成23年度から平成27年度までの5年間、この計画にそってセンターを運営し諸事業を推進していくことになります。

計画書には、基本目標として ①会員拡大・広報宣伝 ②就業開拓・安全対策 ③理念浸透・事業運営 ④財政基盤・事務局体制を挙げ、それぞれの目標達成の方策が書かれています。また7頁以下には実施にむけた方策をより具体的に述べ、14頁からは資料編として種々の項目を数値で示しています。

毎年の実行計画にこの基本計画を反映させ、平成27年度末の数値目標として設置された「会員数792人、契約金額334,152千円、就業率91%」を達成するべく、頑張りたいものです。この計画書は、前回配付いたしました「会員のしおり」と一緒にとじこんで頂ければと思います。

会員の入退会 期間:10月1日~11月30日

地区	入会者	退会者
矢野口1・2・3	1	3
押立1・2	1	1
東長沼1・2	4	1
大丸1・2	0	1
百村	2	0
向陽台	1	2
坂浜	0	0
平尾1・2	1	2
長峰	2	0
若葉台	1	0
合計	13	10

**公益社団法人初の
「仕事別グループリーダー会議」報告**

シルバー人材センターの会員が円滑に就業を行うためには、センターの理念や就業規則をよく理解すると同時に、グループリーダーの役割が非常に重要です。

公益社団法人になってから初めての仕事別グループリーダー会議が11月11日、プラザ4階会議室で行われました。出席者は会長以下理事6名、リーダー46名でした。

以下、挨拶要旨等をご紹介します。



グループリーダー会議 三澤会長の挨拶

●三澤会長挨拶

会員一人一人がセンターを背負っているのだという自覚と、市民から信頼される品格が大切だということを心がけましょう。

●グループリーダーからの報告

よみうりランド駐車場・植木・リフォームのリーダーから、①仕事内容、②会員数、③リーダーの苦労などの報告がありました。

●安全について(新井田安全管理委員長)

安全はまず健康から。加齢による体力の減少を認識し、能力に合った仕事を心がけてください。まずは自分の安全、そして他の人にも声をかける気持ちが大切です。

●適正就業について(宮澤常務理事)

発注者との契約が適正に行われ実行して初めて“適正就業”が成り立ちます。就業先で発注者から契約以外の仕事を頼まれた場合は、まず事務局に連絡してください。

●リーダー研修アンケートの質問と回答

①「リーダーとしての心構え」には、安全就業、グループ内の円滑化、情報伝達など。

②「リーダーとしての苦労」には、信頼される業務遂行、グループ内の円滑化などの回答が上位をしめました。

●閉会の挨拶(小山副会長)

就業時、うっかり事故のないよう気をつけま

しょう。仕事面では市民からのクレームも多く、“市民はお客様”ということをもまずは再確認してください。

在籍3年会員 理念再研修行われる

◆コミュニケーションの大切さを再確認しました

平成23年度の理念再研修が昨年11月10日と14日の2回に分けて、振興プラザ4階会議室で実施されました。

従来との大きな違いは活発なディスカッションが行われたことです。出席会員が3つのグループに分かれて、それぞれのテーマについて自分はこう考える、こう行動する、という意見を出していただき、ディスカッションの中から課題に対処する意思疎通を確認し合うことができました。

今回のテーマは「駐車場管理のトラブル」「家事援助就業時の身だしなみ」「お客様との作業前の打合せ」を例に、お客様の信頼を得る接し方を学びました。

その他に、安全就業、適正就業についての解説と意見交換がありました。

受講者は1回目22名、2回目18名でした。



3班に分かれて討議する会員さん

●自転車事故にご注意

自転車によるケガなど重大事故が目立っています。加害者にならないよう、被害者にならないよう、気をつけましょう。

- 《〈理事會報告〉》(抜粋)
- 第10回12月16日(金)午後3時より
- 【事務局報告事項】
- ・業務報告・退会報告
- ・事業実施状況報告(11月分)
- 【部会報告】
- ・総務部改・事業部云
- 【委員会報告】
- ・広報委員会
- ・女性就業推進委員会
- ・安全管理委員会
- 【議決事項】
- ・第16号平成24年度予算編成方針
- ・第17号基本計画実施推進本部設置規程

会員のひろば

年男・年女「今年の抱負」は！！

辰年生まれのお二人に聴きました。

◎牛山 文夫様は1928年生まれの大先輩です。会員歴17年、理事3期を勤めたそうです。昨年は健康ハイキングに参加し、10キロのアップダウンコースを難なく完歩されました。



牛山さんの抱負は「健康維持のため歩くこと、旧友との付き合いを楽しむこと」といっておられました。

◎大西 すず子様は1940年生まれの明るい方です。会員歴は4年2カ月で、洋服のリフォームの仕事をしています。

仲間から大変頼りにされ、現在サブリーダーをなさっています。



大西さんの抱負は「常に基礎的な技術を忘れないで、お客様に任せて頂いた仕事をやり遂げる」です。

ある資料によると辰年生まれの方は「表面的には静かで温和に見えますが、常に高い理想を持ち自尊心の高い人」とありました。

まさに、ぴったり当てはまるお二人でした。

布ぞうり教室拝見



「布ぞうり講習会」から毎月1度の「布ぞうり教室」になり、昨年12月15日に第7回が行われました。参加した

5名の方々は、とても熱心に取り組んでいました。「足が悪くならないように、足が元気になる色にしたのよ」「可愛く出来て娘に上げようと思ったけれど駄目！これは私の！」といういろいろの思いも一緒に編み込んでいました。世界にたった1つの「ぞうり」ですね。

昨年11月30日「健康ハイキング」を楽しみました



約10キロのコースに参加しました。少々疲れましたが健康を実感できました。

足慣らしの「ありがた山」の急な山道から遊園地を一周するような行程でした。落伍者もなく参加者16名全員出発点のよみうりランド駅に戻りました。

安全管理委員会の皆さんありがとうございました。

編集後記

お正月や祝い事には、「祝い箸」を使います。おせちを戴きながらこんなお話を思い出しました。

皆さんは「三尺三寸箸」と言う長い箸をご存知でしょうか？そんなに長い箸を使って、いったいどの様にして食べるのでしょうか？

お釈迦様が、地獄の様子を覗いて見ました。それぞれが、箸がぶつかったと言っては、喧嘩ばかりしていて食べる事が出来ません。そのため、みんな青い顔をして痩せ細っています。こんどは極楽の様子をご覧になりました。みんなニコニコして健康そのものです。

何故でしょうか？それは、向かい合っている者同士、食べ物を口に運んで食べさせていたのです。

自分のことばかり考えるのではなく、まず、相手を思いやる心が大切ですね。(t)